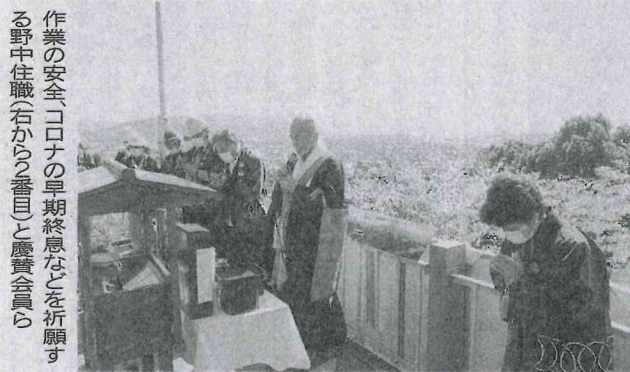


慶賛会の男性らに洗い清められる弘法大師銅像(きょう午前今山大師)



作業の安全、コロナの早期終息などを祈願する野中住職(右から善目と慶賛会員の)

お大師さん、さつぱりと

3/6大祭前に恒例の大沐浴

延岡

九州三大春祭りの一つとされる延岡今山大師祭を前にきょう、延岡市山下町の今山大師(野中玄雄住職)で弘法大師銅像の1年間のあかを洗い流す恒例行事「大沐浴(だいもく)」があった。今山大師銅像の足元で大沐浴の安全、祭りの盛況、地域の発展などをお願いする祈願の儀式が行われた。きょうは、雲一つない絶好の沐浴日より。境内の桜も満開を迎え、野中住職らが般若心経を唱えるなか、男性らは高圧洗浄機やブラシ、竹の先端に固定したタオルで丁寧に磨き、銅像に付いた1年間のあかを落としていった。

今年、大師祭は、4月16～18日の3日間。「手を合わせ終息平和のお大師さん」をテーマに開催される。野中住職は、「大沐浴の安全、コロナ禍の犠牲者慰霊、早期終息、復興などを祈りました。無事に祭りを開催したい」と話した。